２０２３年度
環境経営レポート
（２０２３年４月～２０２４年３月）

第１５版作成　２０２４年７月５日
有限会社三和商事

①組織の概要

事業所名

有限会社三和商事
代表取締役　　鈴木　敏雄

法人設立年月日：昭和52年4月
資本金：300万円

所在地

本社：静岡県周智郡森町中川1646番地の1
TEL：0538－49－1010
FAX：0538－49－3277
E-mail　mitsuwa@lilac.ocn.ne.jp

福田工場：静岡県磐田市福田407番地

事業の概要

ウエス加工・販売及び半毛原料・中古衣料の販売、
工業用副資材、再生糸を利用した軍手の販売・洗濯、
輸出輸入商・機械製品加工

環境管理責任者　　鈴木　武（連絡担当を兼務）

事業の規模

活動規模	単位	10年度	20年度	21年度	22年度	23年度
主要製品生産量	トン	2500	2407	2580	2586	2687
従業員	人	17	34	35	34	34
床面積（本社）	㎡	1881	1881	1881	1881	1881
床面積（福田）	㎡	－	461	461	461	461

車両

《軽油》
6トン　平ボディー
4トン　平ボディー
3トン　平ボディー
3トン　アルミバン
ユニッククレーン車
パッカー車（中型）
パッカー車（中型）
アームロール
1トン商用バン
0．4トン商用バン
3トンフォークリフト
2トンフォークリフト
1．5トンフォークリフト

《ガソリン》
軽自動車
普通自動車（ハイブリット）

②対象範囲

認証・登録番号　0003877
対象組織：有限会社三和商事　本社・本社工場、福田工場
対象活動：ウエス加工・販売及び半毛原料・中古衣料の販売、工業用副資材・
再生糸を利用した軍手の販売・洗濯、輸出輸入商・機械製品加工

レポートの対象期間及び発行日
2023年4月～2024年3月
2024年7月5日発行（第15版）

③環境経営方針

基本理念

当社は、学校・公共・一般等から廃品回収で出された屑繊維（ボロ布）を回収業者から買受け、ウエス（工場などで使用される雑巾）、中古衣料（主に東南アジアに輸出）、半毛原料（自動車などに使用されているフェルト）、等の3種類に有効活用する。

資源リサイクル事業を常に実行し、環境保全に貢献する。

リサイクル率１００%を目指して常に努力していく。

行動方針

１．事業活動を通じて技術と品質の向上に努めます。
　　客先に喜ばれる商品(ウエス、中古衣料、軍手、羊毛原料)の提供

２．ウエス加工の事業活動を通じて限りある資源の有効活用、環境保全に努めます。

３．省エネルギー活動を推進し、CO2の排出量の削減に取り組みます。

４．節水に努力します。

５．消耗品のグリーン購入を推進するとともに、環境配慮製品の販売促進に努めます。

６．環境関連法規等を遵守し、企業の社会的責任を果たします。

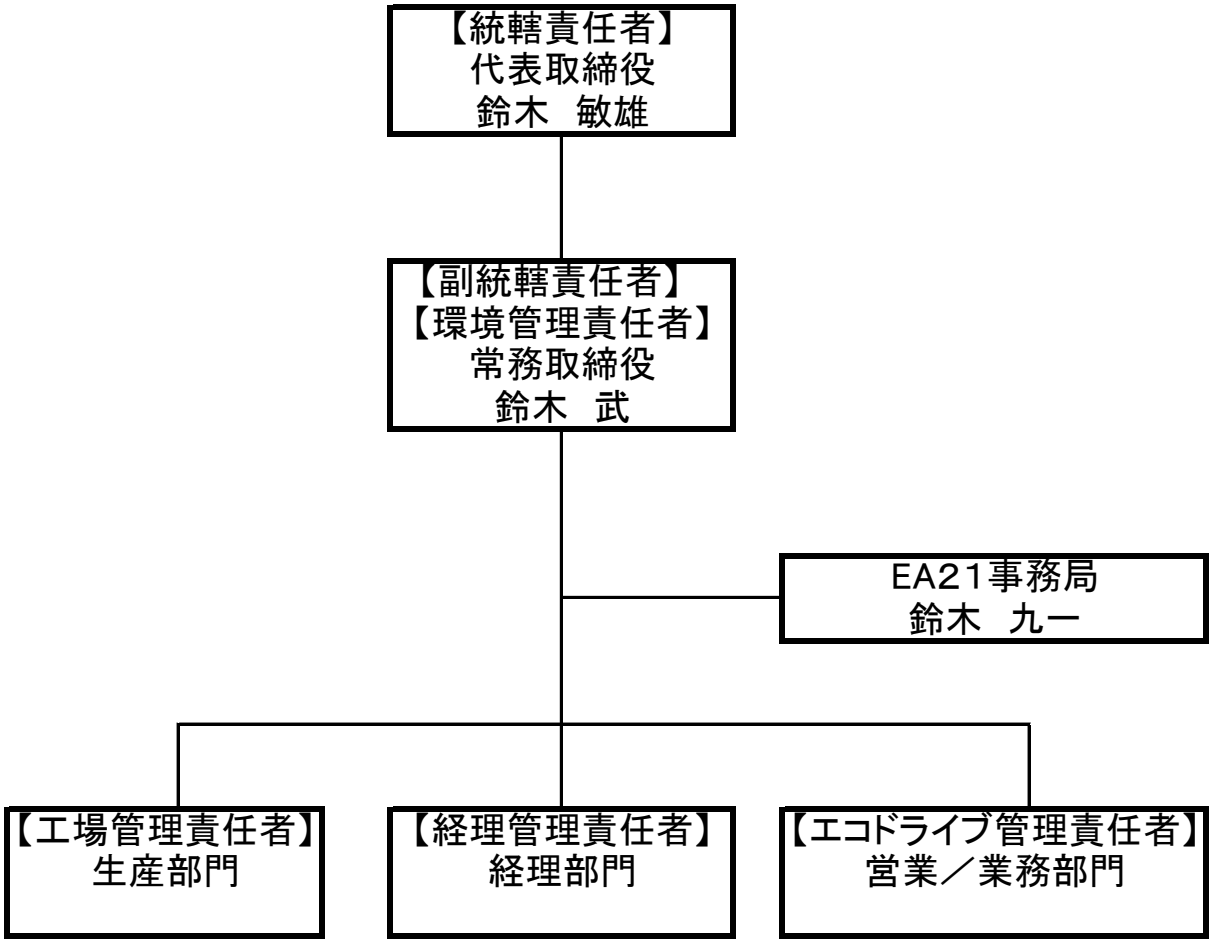
この環境経営方針を全社員に教育し、環境保全の意識を高め、また、環境経営レポートを作成し社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを大切にします。

改定　2020年12月4日
制定　2008年5月29日

有限会社三和商事
代表取締役　鈴木　敏雄

実施体制の各自の役割、責任及び権限と活動実施体制の組織図

改定　　令和2年6月1日



代表取締役 総括責任者 鈴木　敏雄	環境方針を定める 環境管理責任者を指名 資源（人材・資金・技術）の用意 システムを見直す 経営における加害とチャンスの明確化 効果的で十分な実施体制を構築、全従業員に周知
常務取締役 副総括責任者 環境管理責任者 鈴木　武	代表者の補佐 代表者不在時の代行 システムの総責任者としての役割権限を 他の責任にかかわらず持つ システムの実績を代表者に報告
工場長 工場管理責任者	部門の計画立案 （資源及び廃棄物の分別、リサイクル化） 作業教育の立案 実施状況の確認、記録
経理部 経理部門管理責任者	部門の計画立案 （電気・紙・水の削減） 作業教育の立案 実施状況の確認、記録
営業／業務部 エコドライブ管理責任者	部門の計画立案 （ガソリン・軽油・重油等燃料削減） 作業教育の立案 実施状況の確認、記録

④環境経営目標

環境経営目標

項目	単位	20年度(基準)	21年度(-1%)	22年度(-2%)	23年度(-3%)
技術と品質の向上			客先に喜ばれる商品の提供		
CO2排出量	kg-CO2	379,994	395,004	409,634	423,883
購入電力	kWh	141,728	147,326	152,783	158,098
ガソリン	L	11,063	11,500	11,926	12,341
重油	L	46,000	47,817	49,588	51,313
軽油	L	62,041	64,492	66,880	69,207
廃棄物排出量	t	20	21	22	22
水使用量の削減			節水に努める		
売上目標	%	100	105	110	115

※電力のCO2排出係数:ENEOS 0.452　中電　0.388kg-CO2/kWhと調整後排出係数を使用しました
R3年度実績、R5.1.24公表
CO2排出量目標値を同一排出係数にて算出すべきでしたが割愛しました。
○売上目標を基準年プラス5%に設定
○各項目も5%増加したと仮定し、そこから削減目標数値を設定

環境経営目標の実績

		22年度	23年度					
項目	単位	実績	目標	実績	対目標比	結果	対前年比	結果
技術と品質の向上			提供	出来た		○		○
CO2排出量	kg-CO2	371,329	423,883	350,589	82.7%	○	94.4%	○
購入電力	kWh	127,855	158,098	116,395	73.6%	○	91.0%	○
ガソリン	L	13,140	12,341	12,646	102.5%	△	96.2%	○
重油	L	48,000	51,313	44,000	85.7%	○	91.7%	○
軽油	L	61,102	69,207	58,000	83.8%	○	94.9%	○
水使用量			節水	出来た		○		
廃棄物排出量	t	14	22	11	50.0%	○	81.6%	○

※　23年度売上は22年比103.9%

※　対目標比の結果は　○達成　・　△110%未満の未達成　　・　×110%以上の未達成とする

※　対前年比の結果は　○103．9%以下　・　△113．9未満の未達成　　・　×113．9%以上の未達成とする

今後の環境経営目標

23年度実績を基準とする

項目	単位	23年度(基準)	24年度(-1%)	25年度(-2%)	26年度(-3%)
技術と品質の向上			客先に喜ばれる商品の提供		
CO2排出量	kg-CO2	350,589	364,437	377,935	391,082
購入電力	kWh	116,395	120,993	125,474	129,839
ガソリン	L	12,646	13,146	13,632	14,107
重油	L	44,000	45,738	47,432	49,082
軽油	L	58,000	60,291	62,524	64,699
廃棄物排出量	t	11	11	12	12
水使用量の削減			節水に努める		
売上目標	%	100	105	110	115

⑤環境経営計画、及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

	責任者	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	評価	コメント	次年度以降の対応
1.技術と品質の向上　責任担当：工場	常務															
客先に喜ばれる商品(ウエス、中古衣料、軍手、反毛原料)の提供		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	○	満足できる品質・技術の確保	継続実施
2.二酸化炭素排出量の削減	工場長															
【ガソリン・軽油】 責任担当：営業・業務部		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→			
・ 不要なアイドリングの禁止														○		継続実施
・ 急発進・急加速・急ブレーキの禁止														○	一部車両にドライブレコーダー設	継続実施
・ エンジンブレーキの積極的な使用														○	マニュアル車では実施	継続実施
・ タイヤの適正空気圧の維持														○	毎月第一月曜日に実施	継続実施
【A重油】 責任担当：工場		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→			
・ ボイラー燃焼の適正化														○	点検・整備を実施（部品交換実施	継続実施
【電気】 責任担当：経理部		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→			
・ 不要な照明の消灯		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	○	一部照明をLEDに変更	継続実施
・ エアコンの設定温度は冷房28度、暖房20度に設定					→	→	→			→	→	→		○		継続実施
・ エアコンフィルターの定期的な清掃				○						○				○	6月2日、12月1日に実施	継続実施
・ クールビズ、ウォームビズの推奨					→	→	→			→	→	→		○		継続実施
3. 水使用量の削減　責任担当：工場	工場長	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→			
・ 洗車時の節水														○		継続実施
・ 洗濯時の節水														○		継続実施
4. 廃棄物排出量の削減　責任担当：経理部	経理部	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→			
・ コピー用紙の両面使用														○		継続実施
・ ミスコピーの裏面使用														○		継続実施
・ 不要なFAXを印刷しない														○		継続実施
・ ダンボールのリサイクル														○	週1回回収	継続実施
・ 鉄くずのリサイクル					○					○			○	○	本年度は3回実施	継続実施
5. グリーン購入の推進　責任担当：経理部	経理部	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→			
・ 備品はグリーン商品を積極的に購入														○	アスクルに加えカインズも利用	継続実施

取組状況の評価

1. 技術と品質の向上　　安全な商品の提供をより充実させていく

2. 二酸化炭素排出の削減　　本社事務所、工場、福田工場の照明をLED化
（本社事務所と工場は一部のみのため、さらに進めていく）
※エアコンフィルターの掃除を6月2日と12月1日に実施

3. 水の使用量の削減　　焼却炉で使用する冷却水が増加している。
→ダイオキシン対策で必須である。噴射口の目詰まり等、引き続き定期的にメンテナンスを行う。

4. 廃棄物排出量の削減　　大手企業を中心にオンライン注文が主流ではあるが、注文書や受領書等は自社で印刷の必要があり、
オンライン化による紙の削減は難しい状況である。ミスプリントの削減、両面印刷等、できる限りの使用量削減に努める。
※鉄くずを7月、12月、3月にリサイクル業者に搬入し、合計1530kgとなった。

5. グリーン購入の推進　　価格での比較とともに、「エコ商品ねっと」を活用し、グリーン購入法対象か否かもできるものは確認する

⑥環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟の有無

環境関連法規等の取りまとめ

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	〈当社の対応〉	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物収集・運搬及び処分業者との委託契約 収集運搬・処分業許可証の確認	契約(書)の締結 県知事の(最新)許可証	○
	マニフェストの交付義務、記載義務 及び虚偽記載の禁止	マニフェストの適正な作成 A、B2、D、E票保管、5年間	○
	マニフェストの保管・管理	90日以内または180日	○
	マニフェストの期間内返却の確認	以内の返却確認	○
	保管基準の遵守、削減活動の実施、投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	仮置き場や車両荷台を ブルーシートで被う等	○
	産業廃棄物管理票交付状況報告	6月30日までに知事に報告	○
	産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	掲示板設置	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の設置 処理委託先の実地確認と記録	法令遵守、体制整備 年1回確認、記録保管	○
水質汚濁防止法	洗濯排水処理施設　凝集沈殿出口測定 pH、BOD、COD、SS、Nーヘキサン量	自主管理で点検を実施	○
ダイオキシン類対策特別措置法	廃棄物焼却炉の維持管理 排ガス、燃え殻、ばいじん濃度分析	年1回、測定分析実施 県知事への報告	○
道路運送車両法、道路法、道路交通法、自動車Nox・PM法	登録・点検・整備 道路の保全、法定速度の遵守 排ガス規制・燃料使用量の削減	事業者の義務及び 一般的な責務	○
地球温暖化対策促進法	温室効果ガス抑制装置	自治体施策への協力	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等のうち、有用な物の 循環的な利用促進	○
フロン排出抑制法	適正な回収・破壊によるフロン類の 大気中への排出抑制の遵守	フロン排出規制法に基づく 簡易点検の実施	○
自動車リサイクル法	引取業者への引き渡し	リサイクル料金の支払い	○
資源有効活用促進法(PCリサイクル法)	OA機器の適正処理	パソコン・モニター	○
家電リサイクル法	引取業者への引き渡し	事務所・休憩室の冷蔵庫	○
消防法 (危険物の取扱い)	火災の予防 設置等届出書	危険物施設・物品の取扱いと 火災予防の対応	○
浄化槽法	保守点検、清掃、法定検査の実施	実施確認の記録と保存	○

環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘、利害関係者からの訴訟等も、過去3年間ありませんでした。

環境関連法規等の遵守評価日　2024年3月31日:鈴木　武

⑦環境上の緊急事態の想定及びその対策

緊急事態の想定及びその対策

緊急事態	想定される状況	対応策
地震	揺れによる高所原料の落下	1階作業者は工場の外に出る
		中2階作業者は揺れが収まるまで待機
火災	配線ショートによる火災	消火器による消火（消火器の取扱い方法による）
		消防への通報、避難
油漏れ	フォークリフトのホース破損による	ウエスによる油の吸い取り
		破損個所の修復
	重油タンクの給油時の油漏れ	河川流出を防ぐ処置をとる
		オイルフェンス・吸着マット

緊急事態に対応する訓練

1．緊急事態発生時の机上訓練（震度5の地震発生を想定：2023年10月4日実施）

・8時30分、始業直後に地震発生

・従業員の避難と安全確保
●工場1階の作業者は速やかに工場外へ避難
→ ウエス原料、輸出用中古衣料等、落下や荷崩れの可能性がある
◎工場外にて点呼を実施、作業者の安否確認を行う
⇒行方不明者がいる場合、安全を最優先に捜索、救助を行う
●工場中二階の作業者は揺れが収まるまで待機
→ 中二階への落下、荷崩れの可能性は低いため待機して安全を確保する
◎揺れが収まり次第、工場外に避難
◎工場外にて点呼を実施、作業者の安否確認を行う
⇒行方不明者がいる場合、安全を最優先に捜索、救助を行う
●負傷者、火災発生の有無を確認
⇒必要に応じて、消防・警察に連絡
（地震発生時は対応に時間がかかることを考慮し、できる限り社内での対応をする）
●自身が収まり次第、可能な限りのブレーカーを落とす
●情報収集に努める

検証：決めた対応策は有効であり問題は無かった

2．フォークリフトのホース破損による油漏れ（2023年10月5日実施）

・安全な場所でのエンジン停止確認

・ホースの応急処置と油の吸い取り

・周辺への油流出防止

※本社工場にて実施しました

検証：決めた対応策は有効であり問題は無かった

⑧代表者による全体評価と見直しの結果

「環境管理責任者から代表者への報告内容」			責任者氏名 鈴木　武
			作成年月日 令和6年6月17日
見直し関連事項	項目		確認（必要に応じて評価・コメントを記載）
	1	EA21文章	□
	2	環境経営目標及び達成状況	□
	3	環境経営計画及び組織実施状況	□
	4	環境関連法要求一覧及び遵守状況	□
	5	外部コミュニケーション・対応記録	■　苦情・要望等はなし
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	□
	7	取引先、業界、関連行政機関、その他の外部動向	■　販売数、販売金額ともに伸びているものの、輸入原料の占める割合が大きいため、本年度は円安により苦しい状況が続いた。顧客の動向は良い状況が続いている。
	8	その他	□

「代表者による全体の評価と見直し」の結果			責任者氏名 鈴木　敏雄	
			作成年月日 令和6年6月19日	
全体の評価と見直しの指示	全体評価 （環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等）		環境経営目標3ヶ年の最終年度となる本年度は売上目標が基準年から13%増と目標の15%増には達しなかったものの、順調に推移している。各項目もガソリン以外は対目標比、対前年比ともにクリアでき、効率よく仕事ができている。利益の面では為替差損が大きく厳しい状況であるが、外部的要因の為、対応は難しい。業務の効率化に加え、価格改定も行い、利益率の改善に努めていく。	
	見直し項目		変更の必要性	変更[有]の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	□有・■なし	
	2	環境経営目標	□有・■なし	
	3	環境経営計画	□有・■なし	
	4	実施体制	□有・■なし	
	5	その他のシステム要素	□有・■なし	
	6	その他（外部への対応等）	□有・■なし	